

園名 キッズハーモニー・よよぎの杜 (幼児) 2025年7月10日 (木)

テーマ 自然 (お米ができるまで 種植え)

◎ねらいを設定する

ニュースで米不足が報じられ、米が子どもたちにとっても身近な話題となっている。そこで米に焦点を当て米について学び、自分たちで米を育てることで米や食物の大切さを学ぶ事をねらいとする。



活動内容：種植え

米と種籾を子どもたちに見せ、比べ観察をする。

米に関する知識やお米になるまでの過程を画像を交えながら学ぶ。

3歳児はグループごとに、4-5歳児は個々で容器に水を入れ種もみを蒔き芽出しをする、その後芽出した種籾を土にまく。

種籾から芽が出てくる様子、苗が育っていく様子を観察する。

子どもたちの様子

白い米はよく見るが、籾殻が付いたものは初めて見る児が多く、「色が違う」
白いお米は「つるつる」しているけれど種籾は「ざらざらしている」と視覚や触覚を使いながら観察を行っていた。一粒ずつ大事そうに種籾を水につけ、生育を楽しみにしていた。



【環境をデザインする】

- ・準備したもの
コメ、種籾、育苗容器、土、お米ができるまでの画像を貼った表



【気づき・振り返り】

種籾が米になることをぼんやりとしか理解できていなかった子どもたちも実際に種籾から芽が出て苗が育っていく過程を観察することで、種籾が米になっていくことを実感できていた。

園名 キッズハーモニー・よよぎの杜 2025年 7月 26日、28日
 【 テーマ 自然 おこめができるまで 田植え 幼児(3,4,5歳) 】

◎活動のねらい

田んぼってどんなどんなところ？泥の感触を感じながら田植えを体験する。



◎活動内容：

おこめができるまでの動画をプロジェクターで投影して視聴する。大画面で観ることで没入感を味わう
 (26日)

実際に園庭に作った田んぼでドロドロした土の感触を感じながら田植えを行う。田んぼの周りから田植えを楽しむ。田んぼに入ることが出来る児は裸足になり苗を植えていく。(28日)

①「そっと優しく植えようこれでいい？」

米が実るまで生長を見守る。



②「どうしよう・・・
 入ってみようかな」
 「つめたいー」「気持ちいい」
 はじめはためらっていた
 子どもたちも次々に挑戦し
 足が泥に埋まっていく様子を
 楽しんでた。



③上手く植えられて大満足

【環境をデザインする】

準備したもの
 プロジェクター 動画 苗
 土(赤玉、黒土、腐葉土、肥料)
 田んぼに見立てたタライなどの容器



④「楽しかったね」
 泥が付いた自分
 たちの足を見て
 「くつしたみたい」
 と笑い合う。

【気づき・振り返り】

田んぼに入ることが初めての体験であったが、多くの児が楽しんで田植えを行えた。泥の滑らかな感触や徐々に沈んでいき足を取られる感覚は砂場の泥の感触とも違い、新しい発見だったように思う。年長児は動画で苗をまっすぐ植えていたことを覚えており、まっすぐになるよう工夫して植えていた。

園名 キッズハーモニー・よよぎの杜

2025年11月～2026年2月

【 稲刈りから精米、おにぎりづくりまで 】

◎活動のねらい

稲刈りを体験する。刈り取った稲はこの後どのようにして白いお米になっていくのかの過程を知り、米ができるまではいかに大変かを実感する。おにぎり作りを通して収穫の喜びを知る



稲を刈ったらはさがけをします

◎活動内容：稲刈り～おにぎり作り

はさみを用い個々で田んぼの稲を刈る。
稲を束ね、はさがけをし天日干しをする
籾を擦り、玄米にする。

玄米を精米機に入れ、だんだん白米に変わって
いく様子と、玄米が白米と糠に分かれることを
知る。

白米を炊飯器で炊いておにぎりづくりを行う。

玄米は白くないな…
黒い正体はなんだろう？



お～ 白くなってきた!?
黒の正体、底に「糠」を発見！

【環境をデザインする】

準備したもの
稲刈り:はさみ、はさぎ
精米:籾、玄米、白米、精米機、
おにぎり作り:茶碗、ラップ



おにぎりを握ろう
よく噛むと甘みを感じるよ



【気づき・振り返り】

刈った稲はどのような工程を経て
白米になっていくのかを知ることが
できた。

半年ほどの米作りの期間の間に
様々な作業があり、米ができるまで
はいかに大変かを実感できた。
感謝をしながらおにぎりを食べた。

園名 キッズハーモニー・よよぎの杜

2025年10月23日（水）

【テーマ：科学「サイエンスショー」

対象児：幼児（3.4.5歳児）】

◎活動のねらい

科学の不思議さ・面白さを感じ、好奇心や探求心を深める。



手のひらの上に乗せるだけで、動く不思議を感じる。裏返すと反対向きにゆっくりと曲がっていく様子を何度も繰り返し楽しんだ。

◎活動内容

サイエンスショーの中で、空気（重さはあるか、空気砲にするとどんな動き方をするか）、静電気（どのようにして発生するか、発生するとどうなるか）、目には見えない手のひらの汗などについての不思議さや面白さを感じた。他児や保育者とそれらの事象についての発見や不思議さを話し合いながら、サイエンスショーに参加した。

マフラーで風船をこすったら、先生の髪の毛に風船がくっつくことを発見した。壁や天井にもくっつくことを知り、どんなところにもくっつくのかな？とさらなる探求心がすぐられた様子。



【環境をデザインする】

準備したもの：サイエンスショー

※どの学年でも集中してみることができるよう、配置や座る体勢に配慮して行った。



空気砲が目に見えることで、より実験の面白さを感じ、指を指したり歓声を上げたりしながら見入っていた。また、空気がくるくると回旋しながら動いていることに驚きの表情が見られた。

【気づき・振り返り】

普段と違った環境やゲストがいたことで、サイエンスショーへの参加の仕方に違いが出た。長い時間だったが、普段以上の集中力を発揮して最後まで発見を楽しんでいた様子。今までに経験したことと結び付けたり、「こんなことがしてみたい」と、新たな疑問も生まれ、探求心を深め

園名 キッズハーモニー・よよぎの杜

2025年11月21日（金）

【 テーマ：科学「静電気を発生させよう」 対象児：5歳児 】

◎活動のねらい



見てみて、壁についたよ！と、他児に教える様子。すごいね、僕もやりたい！と、みんなで楽しみながら実験を進めた。



なんで私のはできないだろう？と悩むお友だち。保育者の言葉かけをヒントに、マフラーが原因かな、こするのが足りないのかなといろいろな方法を試していた。



マフラーにも静電気が起きやすいもの、起きにくいものがあることに気づいた子どもたち。静電気が起きやすいマフラーを他児に率先して貸す



◎活動内容：

サイエンスショーで見た静電気を発生させて行う遊びを実際に行った。ショーで見た壁や頭に風船を付けたり、風船同士を近づけたりして起きる現象を再現し、できないときにはなにか原因があるのかを話し合いながら探求した。

【環境をデザインする】
準備したもの

風船

【気づき・振り返り】

静電気が起きやすいマフラーがあることやたくさん擦ることで静電気が起きることなどに気づいた。また、ショーで使ったマフラーや風船には何か秘密があるのではないかと推測する児もいた。

ショーで見たようにはうまくできなくても探求する楽しさを感じた様子。何度も挑戦し、他児と見せ合って達成感を感じていた。

園名 キッズハーモニー・よよぎの杜

2025年 12 月 3 日 (水)

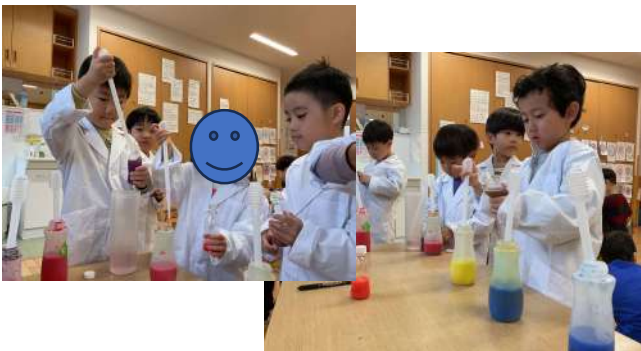
【 色の実験！～マイカラーボトルを作ろう～ 】

◎活動のねらい

色の混ぜ合わせを知り色への興味を深める/自由に色水を調合し自分だけのカラーボトル作りを楽しむ



①目の前で色を混ぜ合わせると
「わー！紫になった！」と大興奮



②白衣を身にまとい実験モード！スポイトを用いて色作りを楽しんだ
慎重に色を混ぜ合わせる児もいれば大胆に色々な色を混ぜ合わせる児もいたり様々だった



◎活動内容：

- ・サイエンスショーで実験への興味を深めた上で、実際に色の混ぜ合わせ(赤+青=紫/赤+黄色=オレンジ)について見て学んだり、色の三原色や色相環について知る
- ・実際に色水の調合を行いながら自分だけの色を作る
- ・自分の作った色に名前を付け一人ずつ発表を行う

【環境をデザインする】 準備したもの

- ・色水(絵の具を溶かした水)
- ・スポイト
- ・R1ボトル
- ・白衣
- ・製作用雑巾

【気づき・振り返り】

- ・導入として行った色の混ぜ合わせから興味津々で見入っており、最後まで楽しそうに行う姿が印象的だった。白衣を身に纏ったこともあり特別感を感じながらより実験の雰囲気を楽しめた。その後は塗り絵をしながら「三原色で塗ろう」などの声もあがるようになり、色への興

園名 キッズハーモニー・よよぎの杜

2026年1月29日（木）

【 万華鏡を作ろう！ 】

◎活動のねらい 万華鏡にふれて実際に作ってみる。

◎活動内容：伝承遊びで触れた万華鏡を身近な素材で作る。



【環境をデザインする】
準備したもの

トイレットペーパーの芯、カラーセロハン、ミラーシート、ビーズ、テープ、折り紙、ペン、のり、ハサミ、色鉛筆

【気づき・振り返り】

伝承遊びで本物の万華鏡に触れる機会があり、当初のねらいより変更していった。身近な素材で作れることを伝えると驚いた様子だったが、全員が意欲的に取り組むことができ、満足感を得ることができた。作り終えた後も自身で堪能したり、他クラスの保育者や周囲の保護者、友だちなどにも作ったことを知らせたり、実際に見せたりと余韻に浸ることができた。自由遊びでも自分なりの万華鏡を作る姿もあり、刺激を受けたようだった。



園名 キッズハーモニー・よよぎの杜

2026年1月30日

【 光と影 】

◎活動のねらい:光を用いて様々なものを照らす。またそこから生まれた影を見つける。

◎活動内容:発光物を眺める。自分たちで照射してみる。



【環境をデザインする】

準備したもの

- ・プラネタリウム装置
- ・プロジェクター
- ・懐中電灯
- ・光を照射する玩具
- ・スクリーン
- ・ジップロック
- ・色水
- ・透明な玩具

【気づき・振り返り】

プラネタリウム装置やプロジェクターを使った遊びは新鮮だったようで、ほぼ全員が暗い保育室をこわがることなく、むしろその雰囲気も含めて楽しんでいた様子。光で玩具を照射して壁やスクリーンに投影される様子やできた影を追いかけたり、自身に光を照射したり、水に光を反射させてできた景色を眺める。光を近づけると強く小さく、距離を置くと光は弱く大きくなることも発見して子どもたち同士の会話も自然

園名 キッズハーモニー・よよぎの杜

2025年 7月 25日 (金)

【氷・寒天に触れてみよう】

◎活動のねらい:氷・寒天に触れて感触を味わう、温度や違いを感じる。

◎活動内容:水遊びの中で氷・寒天に触れてみる。握って感触や温度を確かめたり、入れ物を用いりながら感触遊びを楽しむ。

◎準備物:タライ、タッパー、製氷皿、カップ、着色した氷、着色した寒天、ブルーシート、タオル



小さく分けた寒天に触ってみて、気に入った子はタッパーごと持ってかき混ぜたり、ブルーシート



色や形・大きさの違う氷を用意すると大きいものが人気だった。溶けると色水になり他の色と混ざ



◎気づき・振り返り

どちらも反応に個人差があり、触ることを好む子もいれば感触や温度があまり好きではなく嫌がる子もいた。直接触ることが難しくてもカップに入れると興味を持ち始めたり、入れ物から入れ物へ移すことを楽しんでいる子もいた。寒天は硬さによって子どもの好みが分かれ、簡単に潰れるものが人気だった。

園名 キッズハーモニー・よよぎの杜

2025年 10月 9日（火）

【 巧技台やソフトブロックでの身体を使った遊び 】

◎活動のねらい：発達に応じて巧技台やブロックの形を変化させ、身体を動かすことを楽しむ。

◎活動内容：保育室でのソフトブロック遊び、保育園のホールでの巧技台遊び

◎準備物：様々な形のソフトブロック、巧技台、マット4枚



つかまり立ちにちょうどいい高さだね！



ふわふわでいい気持ち！



マットとブロックを組み合わせた滑り台、おもしろいね。



巧技台と梯子を組み合わせてみました。



巧技台の階段を使って、バスごっこ♪



滑ったり、斜面を登ったり、色々な楽しみ方ができます。

【気づき・感想】

1年間を通してソフトブロックや巧技台での身体を動かす遊びを活動の中に取り入れてきた。月齢や発達段階の差があるため、その時々の子どもの姿に応じてブロックや巧技台の組み合わせ方を工夫した。巧技台を出した当初は、つかまり立ちの練習や、保育者の手を借りながら登ってみるなどしていた子どもたちが、今では1人で段差を登って滑り台をすべったり、ブロックを積み上げて倒す、という動作ができるようになっており、振り返ると成長を感じる。また、戸外のみならず、室内でも工夫すれば様々な形で身体を動かして遊べるのだと感じた。

園名 キッズハーモニー・よよぎの杜

2026年 1月 21日 (火)

【 すくわく3回目 本物の楽器に触れてみよう 】

◎活動のねらい すくわくプログラム1, 2回目では身近な音や手作り楽器で音を出す楽しさに触れた。
3回目では、本物の楽器に触れることで楽器による音色の違いや皆で合奏する楽しさを感じる。



活動内容

- ・様々な種類の楽器の音色の違いを知る。
- ・実際に楽器に触れて、音を出すことを楽しむ。
- ・音楽に合わせて自由に音を出して合奏する

【環境をデザインする】

準備物

- ・手づくり楽器(2回目で作成したボトルに砂、石、葉っぱ)をそれぞれ入れたもの。
- ・トライアングル、カスタネット、タンバリン(園にあるもの)
- ・マラカス(すくわく購入品)

楽器の音色を紹介



「パンパン、カチカチ」と楽器の音をロずさむ子もいました。



リズムに合わせてシャカシャカ



みんなで『おもちゃのチャチャチ』『山の音楽家』『手をたたきましょう』の音楽に合わせて楽器を鳴らして合奏



ミュージックパットを踏み音を鳴らすことも楽しんだ。踏むと音が鳴る楽しさや音の違いにも気づき、何度も繰り返し楽しんでた。

気づき、感想

どんぐりマラカスや自然の音を使った手作り楽器遊びから、音を出すことや音の違いに興味が出てきました。大きく動かしたら大きな音、優しく動かしたら小さな音など音だけでなく強弱にも意識が向き楽しむことができました。3回目では実際に本物の楽器に触れることで、音色の違いに興味を持つ子がおり、「パンパン、カーン、シャカシャカ」と楽器ごとに音を出して言葉でも表現し、音楽に合わせてリズムをとったりマラカスを振りながら「シャカシャカ」と言葉にしてどこで楽器をふるかなど子どもたちなりによく考えて楽しむことができていました。乳児クラスのうちから楽器に触れてみる大切さにも改めて気づくことができました。